

主な質疑項目

2012. 8. 2.

- Q. 有形資産減損(説明資料 p25)に「更なる生産設備の削減」は含まれているのか？
- A. 生産設備の削減は現在発表している以外にも進めていくが、費用は見通しに織り込んでいく。
- Q. Q1 の欧州建築ガラスの価格はどの程度下がったのか？
- A. 国によってばらつくが平均すると対前年比 20%程度下がった。
これまでの報道等の情報を勘案すると各社ガラス生産能力を削減しているのでは、状況は安定していくと思われる。
- Q. 欧州建築需要レベルのボリュームは具体的にどれ位下がったのか？
- A. 建設需要が対前年比で 8 - 10%程度下がっているのでは、ガラスもそれに伴い 10%程度下がっている。
- Q. 欧州建築の黒字化はいつごろを考えているのか？
- A. 今期中も改善はしていくが、黒字化は 2014. 3 期を想定している。
- Q. それほど日にちがたっていない中で下方修正の要因は？
- A. 欧州建築用の市況悪化が想定以上となったことが主因。
- Q. 上期に比べて下期見通しの営業利益が大きく改善するのは？
- A. 収益改善策の効果が下期に主として現れてくるのと、上期で発生する定修費用や原燃材料コスト増のマイナス要因が下期には発生しないため、下期の改善を見込んでいる。

以上